

# 臨床実習アドバンスト

責任者名：本吉 満(歯科矯正学 教授)、米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)、萩原 芳幸(歯科補綴学Ⅲ 准教授)、高山 忠裕(歯科保存学Ⅲ 准教授)、高津 匡樹(歯科補綴学Ⅰ 准教授)、黒川 弘康(歯科保存学Ⅰ 准教授)

学期：前期

対象学年：6年

授業形式等：実習

## ◆担当教員

外木 守雄(口腔外科学Ⅰ 教授)  
田中 孝佳(口腔外科学Ⅰ 専任講師)  
佐藤 貴子(口腔外科学Ⅰ 専任講師)  
西久保 周一(口腔外科学Ⅰ 専任講師)  
篠塚 啓二(口腔外科学Ⅰ 専任講師)  
荻澤 翔平(口腔外科学Ⅰ 助教)  
草野 明美(口腔外科学Ⅰ 助教)  
米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)  
清水 治(口腔外科学Ⅱ 准教授)  
生木 俊輔(口腔外科学Ⅱ 専任講師)  
古川 明彦(口腔外科学Ⅱ 助教)  
白土 博司(口腔外科学Ⅱ 助教)  
玉川 崇皓(口腔外科学Ⅱ 助教)  
岡 俊一(歯科麻酔学 教授)  
小柳 裕子(歯科麻酔学 准教授)  
関野 麗子(歯科麻酔学 助教)  
北山 稔恭(歯科麻酔学 助教)  
武田 ひとみ(歯科麻酔学 助教)  
金子 啓介(歯科麻酔学 助教)  
本吉 満(歯科矯正学 教授)  
高津 匡樹(歯科補綴学Ⅰ 准教授)  
伊藤 智加(歯科補綴学Ⅰ 専任講師)  
池田 貴之(歯科補綴学Ⅰ 専任講師)  
李 淳(歯科補綴学Ⅰ 専任講師)  
浦田 健太郎(歯科補綴学Ⅰ 助教)  
西尾 健介(歯科補綴学Ⅰ 助教)  
岡田 真治(歯科補綴学Ⅰ 専修医)  
伊東 慧(歯科補綴学Ⅰ 専修医)  
黒田 和己(歯科補綴学Ⅰ 兼任講師)  
小川 将史(歯科補綴学Ⅰ 専修医)  
月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)  
大谷 賢二(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)  
大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)

秋田 大輔(歯科補綴学Ⅱ 助教)  
安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)  
大久保 貴久(歯科補綴学Ⅱ 専修医(講座))  
金沢 孝憲(歯科補綴学Ⅱ 専修医)  
萩原 芳幸(歯科補綴学Ⅱ 教授)  
本田 順一(歯科補綴学Ⅲ 助教)  
平場 晴斗(歯科補綴学Ⅲ 助教)  
窪地 慶(歯科補綴学Ⅲ 助教)  
高田 宏起(歯科補綴学Ⅲ 助教)  
木村 文晃(歯科補綴学Ⅲ 専修医)  
赤羽 俊亮(歯科補綴学Ⅲ 兼任講師)  
三上 圭子(歯科補綴学Ⅲ 専修医)  
陸田 明智(歯科保存学Ⅰ 准教授)  
黒川 弘康(歯科保存学Ⅰ 准教授)  
高見澤 俊樹(歯科保存学Ⅰ 准教授)  
石井 亮(歯科保存学Ⅰ 助教)  
小森谷 康司(歯科保存学Ⅰ 助教)  
野尻 貴絵(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
柴崎 翔(歯科保存学Ⅰ 助教)  
関東 英貴(歯科保存学Ⅰ 専修医)  
武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)  
林 誠(歯科保存学Ⅱ 教授)  
清水 康平(歯科保存学Ⅱ 准教授)  
勝呂 尚(歯科保存学Ⅱ 専任講師)  
鈴木 裕介(歯科保存学Ⅱ 助教)  
安川 拓也(歯科保存学Ⅱ 助教)  
大原 絹代(歯科保存学Ⅱ 助教)  
菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)  
吉沼 直人(歯科保存学Ⅲ 准教授)  
高山 忠裕(歯科保存学Ⅲ 准教授)  
西田 哲也(歯科保存学Ⅲ 専任講師)  
蓮池 聡(歯科保存学Ⅲ 専任講師)  
間中 総一郎(歯科保存学Ⅲ 助教)  
小澤 康正(歯科保存学Ⅲ 専修医)  
渡辺 典久(歯科保存学Ⅲ PD)

#### ◆一般目標 (GIO)

多様な歯科医療ニーズに対応するために、第5学年の臨床歯科学で修得した基本的診断と治療の知識をもとに、さらに臨床で必要な歯科医学的知識および手技について理解を深める。

#### ◆到達目標 (SBOs)

##### ◇臨床医学

- ・歯科医にとって必要となる全身状態の把握が可能となるように、内科診断学に基づいた全身所見の診察法を習得

する。

◇歯科インプラント学

- ・ 歯科インプラントにおける基本的な埋入術式および印象採得から補綴装置装着までの基本的な流れを体験学習する。
- ・ 演習を通して基本術式を理解し、それぞれの作業過程の意味、術式、使用材料の種類・使用方法・手技を修得する。
- ・ インプラント外科処置と密接に関連する全身状態の評価についても理解する。

◇補綴学

- ・ 臨床に必要な補綴学の知識および手技について理解を深める。

◇保存学

- ・ 臨床に必要な保存学の知識および手技について理解を深める。

◇口腔外科学

- ・ 臨床に必要な口腔外科学の知識および手技について理解を深める。

◇歯科麻酔学

- ・ これまでに学修した座学での知識と臨床実習での体験を結びつけ、全身管理を実践できるレベルで歯科麻酔学を体系的に理解する。

◆評価方法

専門歯科学基礎実習と診療参加型臨床実習の成績で評価する。

成績評価表示（70%以上の点数に基づく SABC の 4 段階評価）とし、専門歯科学基礎実習評価点（60%）と診療参加型臨床実習評価点（40%）の合計が 70%以上で履修完了とする。

専門歯科学基礎実習評価点：

臨床医学 + 口腔外科学 + 歯科麻酔学 + 歯科インプラント学（各 100 点満点）で評価した合計点を 4 で除した値（小数点以下第 1 位を四捨五入した整数）を評価点とする。

診療参加型臨床実習評価点：

（保存評価×50%） + （補綴評価×50%）（各 100 点満点）で評価し合計した値（小数点以下第 1 位を四捨五入した整数）を評価点とする。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間 ・ 場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	火曜日 17:00～18:00 口腔外科学第Ⅱ講座教授室（本館 5 階）	yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	
萩原 芳幸	月曜日 17:00～18:00 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室（本館 5 階）		オフィスアワーを活用する際には事前に日時を予約をすること
高山 忠裕	月曜日 17:00～18:00 歯科保存学第Ⅲ講座研究室（本館 6 階）	takayama.tadahiro@nihon-u.ac.jp	オフィスアワーを活用する際には事前に日時を予約をすること

高津 匡樹	月曜日 17:00 ~18:00 総義歯補綴学講座（本館5階）	takatu.masaki@nihon-u.ac.jp	事前にメールで連絡してください。
小柳 裕子	月曜日 17:00~18:00 歯科麻酔学講座研究室（本館5階）	koyanagi.yuuko@nihon-u.ac.jp	

#### ◆授業の方法

第6学年をグループ分けし、各項目を日程表に従ってローテーションしながら実習を行う。

##### 【実務経験】全担当教員

全担当教員は歯科医師として日本大学歯学部附属歯科病院で臨床を実践しており、豊富な臨床経験を持っている。第5学年までに修得した臨床歯科医学を基盤とし、歯科医師臨床研修に必要な歯科医学的知識および手技について学ぶ場を、担当教員の実際の臨床経験を活かしながら提供する。

#### ◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	令和4年度第6学年臨床実習アドバンスト学習要項			
参考書	口腔インプラント学実習書	日本口腔インプラント学会編	永末書店	2014

#### ◆DP・CP

[DP-3]多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP-4]自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[DP-7]患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

[CP3-3]基礎医学および歯科医学の知識を身につけ、臨床的な視点から問題を抽出できる。

[CP4-2]歯科医学に関する体系的知識を習得し、臨床的な視点から問題を解決することができる。

[CP5-1]医療推論に必要な医学知識を基に適切に診断し、治療計画を立案できる。

[CP5-2]歯科医師の責務を自覚し、チーム医療のメンバーとして協働することができる。

[CP5-4]臨床の体系的な知識および診査・診断と治療技能に関する基本的事項が修得できる。

[CP6-3]患者を中心としたチーム医療実践のため、責任あるリーダーシップと、適切なコミュニケーションを実践できる。

#### ◆準備学習(予習・復習)

実習前に実習要項で各診療科の学修内容を理解しておくこと。

#### ◆準備学習時間

実習時間の4分の1相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

#### ◆全学年を通しての関連教科

## 隣接医学 I, II

保存科：保存修復学 I（3 年前期）、保存修復学実習 I（3 年前期）、ベーシックカリオロジー（3 年前期）、保存修復学 II（3 年後期）、保存修復学実習 II（3 年後期）、クリニカルカリオロジー（3 年前期）、歯内療法学（4 年前期）、歯周病学（4 年前期）、歯内療法学・歯周病学実習 I（4 年前期）、歯内療法学実習 II（4 年後期）、歯周病学実習（4 年後期）、アドバンスト歯内療法学・歯周病学（4 年後期）、臨床実習（5 年通年）

補綴科：歯冠補綴学、歯冠補綴学実習、咬合学概論（3 年後期）、総義歯補綴学 I、部分床義歯補綴学 I、部分床義歯補綴学実習 I、架橋義歯補綴学、架橋義歯補綴学実習、顎機能治療学（4 年前期）、総義歯補綴学 II、総義歯補綴学実習、部分床義歯補綴学 II、部分床義歯補綴学実習 II、固定性義歯補綴学、顎機能分析学、顎機能分析演習（4 年後期）

第 1 教育診療科：炎症と臨床検査（3 年後期）、外傷と先天異常（3 年後期）、口腔外科手術時の患者管理（4 年前期）、口腔外科手術と顎変形症（4 年前期）、歯科麻酔学各論（4 年前期）、口腔外科治療の実際（4 年後期）

### ◆予定表

各項目の詳細については、臨床実習アドバンスト要項を参照すること。

#### 【授業期間】

3 月 10 日～4 月 28 日

#### 【授業時間】

13：00～17：00

#### 【注意事項】

- ・全出席を原則とする。
- ・特に集合場所および集合時間に留意すること。
- ・学生は指定されたグループに分かれローテイトして、専門歯科学基礎実習および診療参加型臨床実習を履修する。

#### I. 専門歯科学基礎実習

以下の各専門歯科診療について、疾患概念、病態生理、基本治療方針を見学実習、相互実習、模型実習、少人数講義を通して学修する。

- ・口腔外科学
- ・臨床医学
- ・歯科麻酔学
- ・歯科インプラント学

#### II. 診療参加型臨床実習

5 年次に行った診療参加型臨床実習で履修した項目についてさらに理解を深め、その技能やコミュニケーション能力を確実に学修する。実習を行う分野は以下の 2 分野とする。

- ・補綴学（総義歯補綴科、局部床義歯科、クラウン・ブリッジ科）
- ・保存学（保存修復科、歯内療法科、歯周病科）

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
	保存科		8	1. 自験・介助・見学（感染症予防策を十分に考慮して実施すること） 担当医から配当された患者に対して治療を行う（自験	共通事項 ・保存領域疾患に対する診査ができる。 ・保存領域疾患に対する治療計画の立案と説明ができる。 ・保存治療に必要な前処置ができる。	保存修復科 歯内療法科 歯周病科	G-1-1) 臨床診断・治療計画

			<p>する)。          自験終了後に自験ポートフォリオを作成すること。          ◇代表的な自験内容          1) 修復処置－コンポジットレジン修復          ① 1～5級窩洞          ②根面齲蝕          ③くさび状欠損          ④咬耗症          2) 歯内処置          ①根管長測定          ②根管拡大形成          ③根管充填          3) 歯周処置          ①歯周組織検査          ②ブラッシング指導          ③歯面研磨          ④スケーリング・ルートプレーニング          *詳細については臨床実習アドバンスト要項を参照のこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水準1および2の保存治療が実施できる。</li> <li>・患者に術後の治療内容が説明できる。</li> <li>・患者とコミュニケーションが図れる。</li> <li>・コンポジットレジン修復が適切にできる。</li> <li>・作業長の測定が適切にできる。</li> <li>・根管拡大形成が適切にできる。</li> <li>・根管充填が適切にできる。</li> <li>・歯周基本検査が適切にできる。</li> <li>・ブラッシング指導が適切にできる。</li> <li>・PMTCが適切にできる。</li> <li>・スケーリング・ルートプレーニングが適切にできる。</li> </ul>		
補綴科		8	<p>1. 自験・介助・見学（感染症予防策を十分に考慮して実施すること）          担当医から配当された患者に対して治療を行う（自験する）。          自験終了後に自験ポートフォリオを作成すること。          *詳細については</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補綴治療を行うための目的と意義が説明できる。</li> <li>・補綴治療に必要な基本的事項が説明できる。</li> <li>・補綴診療に関する基本的処置の診療介助が実施できる。</li> </ul>	<p>総義歯補綴科          局部床義歯科          クラウンブリッジ科</p>	F-3-4) 歯質と歯の欠損の治療

				臨床実習アドバンスト要項を参照のこと。		
口腔外科 II		8	<ol style="list-style-type: none"> <li>意識状態</li> <li>眼周囲の診察</li> <li>全身の診察</li> <li>胸部の診察</li> <li>腹部の診察</li> <li>四肢の状態の診察</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Japan Coma Scale (JCS) に基づき意識状態を把握できる。</li> <li>・ 眼瞼異常（浮腫，下垂）が診察できる。</li> <li>・ 眼および瞼結膜の診察ができる。</li> <li>・ 眼球運動が診察できる。</li> <li>・ 瞳孔の状態が診察できる。</li> <li>・ 頸動脈が触知できる。</li> <li>・ 頸部可動域を把握できる。</li> <li>・ 視診により胸部を診察できる。</li> <li>・ 打診により肺野を診察できる。</li> <li>・ 打診により心臓の大きさを診察できる。</li> <li>・ 聴診により呼吸音を聴取できる。</li> <li>・ 聴診により心音を聴取できる。</li> <li>・ 視診により腹部を診察できる。</li> <li>・ 触診により腹部異常（筋性防御，圧痛点）を診察できる。</li> <li>・ 打診により鼓腸を診察できる。</li> <li>・ 聴診により腸蠕動音を聴取できる。</li> <li>・ 視診により変形を診察できる。</li> <li>・ 膝蓋腱反射およびアキレス腱反射を診断できる。</li> <li>・ 下肢の浮腫を診断できる。</li> </ul>	口腔外科 II	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
歯科麻酔科		8	<ol style="list-style-type: none"> <li>診察と検査</li> <li>モニタリング</li> <li>精神鎮静法</li> <li>全身麻酔法</li> <li>歯科治療における全身的偶発症</li> <li>心肺蘇生法</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全身状態把握のための診察と検査について説明できる。</li> <li>・ 全身状態把握のためのモニタリングについて説明できる。</li> <li>・ 精神鎮静法について説明できる。</li> <li>・ 全身麻酔法について説明できる。</li> <li>・ 歯科治療における全身的偶発症について説明できる。</li> <li>・ 心肺蘇生法について説明できる。</li> </ul>	歯科麻酔科	E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-6) 救急処置
口腔		8	<ol style="list-style-type: none"> <li>インプラント</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インプラント埋入に用いる</li> </ul>	歯科インプ	E-3-4)-(3) デ

インプラント			<p>の基本埋入術式 2. インプラントの基本補綴術式</p>	<p>器具を説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インプラント埋入術式を説明することができる。</li> <li>・ 基本的な歯肉の切開・剥離・縫合を行うことができる。</li> <li>・ インプラント埋入時に必要な全身的状态の各種検査値を説明することができる。</li> <li>・ インプラント補綴の種類と特長を説明することができる。</li> <li>・ インプラントの印象・咬合採得の方法を説明することができる。</li> <li>・ インプラント上部構造の作製方法を説明することができる。</li> <li>・ インプラント上部構造の試適・装着の方法を説明することができる。</li> <li>・ インプラント補綴装置のメンテナンス・口腔ケアについて説明することができる。</li> </ul>	ラント科	ンタルインプラント
口腔外科 I		8	<p>1. 見学・介助 (感染症予防策を十分に考慮して実施)</p> <p>1) 単純抜歯術 2) 埋伏抜歯術 3) 各種口腔外科小手術</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清潔と不潔の区分を説明できる。</li> <li>・ 手指と術野の消毒法を実施できる。</li> <li>・ 抜歯術・小手術実施前の診査ができる。</li> <li>・ 抜歯術・小手術の基本手技と偶発症を説明できる。</li> <li>・ 抜歯術・小手術を適切に実施するために必要な器具の用法を説明できる。</li> <li>・ 浸潤麻酔を実施できる。</li> <li>・ 術後処置を実施できる。</li> <li>・ 処方箋の内容を理解できる。</li> <li>・ 検査指示書・医療情報提供書の意義が理解できる。</li> <li>・ 基礎疾患を有する患者の歯科治療時における注意点を述べることができる。</li> </ul>	口腔外科 I	G-3 基本的臨床技能







担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名	
保存修復科	1173	陸田 明智	
	1179	黒川 弘康	
	1332	高見澤 俊樹	
	2973	石井 亮	
	2976	野尻 貴絵	
	3098	小森谷 康司	
	3439	柴崎 翔	
	300026	関東 英貴	
	歯内療法科	1151	武市 収
1204		林 誠	
1241		勝呂 尚	
1803		清水 康平	
2651		大原 絹代	
2968		安川 拓也	
3084		鈴木 裕介	
歯周病科		950	吉沼 直人
		1065	菅野 直之
	1169	西田 哲也	
	2298	蓮池 聡	
	2700	間中 総一郎	
	3427	渡辺 典久	
	300131	小澤 康正	
	1569	高山 忠裕	
	口腔外科Ⅱ	1284	生木 俊輔
2009		古川 明彦	
2422		白土 博司	
1728		米原 啓之	
歯科インプラント科		1169	西田 哲也
	1204	林 誠	
	1206	月村 直樹	
	1239	大山 哲生	
	1284	生木 俊輔	
	2298	蓮池 聡	
	2422	白土 博司	
	2696	秋田 大輔	
	2700	間中 総一郎	
	2848	篠塚 啓二	
	2851	玉川 崇皓	
2969	安田 裕康		

	2974	本田 順一
	3463	荻澤 翔平
	1006	萩原 芳幸
	1569	高山 忠裕
総義歯補綴科	1239	大山 哲生
	1307	池田 貴之
	1363	李 淳
	1552	伊藤 智加
	2696	秋田 大輔
	2725	浦田 健太郎
	2839	西尾 健介
	2969	安田 裕康
	3466	小川 将史
	200018	岡田 真治
	300046	伊東 慧
	300047	黒田 和己
	1568	高津 匡樹
局部床義歯科	1195	大谷 賢二
	1206	月村 直樹
	1239	大山 哲生
	2696	秋田 大輔
	2969	安田 裕康
	3119	大久保 貴久
	8019	金沢 孝憲
クラウンブリッジ科	2967	平場 晴斗
	2974	本田 順一
	2978	窪地 慶
	3085	高田 宏起
	3429	赤羽 俊亮
	3451	三上 圭子
	200021	木村 文晃
歯科麻酔科	1085	岡 俊一
	2208	関野 麗子
	2666	武田 ひとみ
	2698	北山 稔恭
	3559	金子 啓介
	2193	小柳 裕子
口腔外科 I	1114	清水 治
	1251	田中 孝佳
	1284	生木 俊輔
	1368	佐藤 貴子
	2009	古川 明彦

	2365	外木 守雄
	2422	白土 博司
	2848	篠塚 啓二
	2851	玉川 崇皓
	2962	草野 明美
	3211	西久保 周一
	3463	荻澤 翔平

